

事務連絡
令和5年9月8日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校事務主管課
御中
附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課
附属学校を置く各公立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局教育課程課

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
の開催について（依頼）

文部科学省では、学習指導要領の趣旨の実現に資するため、標記研究協議会を実施要項（別添1）のとおり開催します。

標記研究協議会に係る提出資料等については、下記のとおりとします。

なお、今回の研究協議会より、学習指導要領の内容の一層の周知促進を図ることとしたため、文部科学省の行政説明については、市町村教育委員会も視聴することができます。各都道府県教育委員会におかれましては、域内の市町村教育委員会に対し、この旨を周知し、積極的な視聴について依頼してください。

記

1 提出資料

(1) 参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書

本協議会への参加者及びオンデマンド配信視聴希望について、別添1及び別添3を確認の上、別紙様式1により提出すること。

(2) 教育課程に関する質問事項及び考え方

質問事項がある場合は、別添4を確認の上、別紙様式2により教育課程に関する質問事項及び都道府県市等としての考え方を付して提出すること。

※質問事項がない場合には、提出は不要。

(3) 各部会における提出資料

別添5及び別添6を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成し、提出すること。

2 提出期限

(1) 参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書【別紙様式1】…9月22日（金）

(2) 教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式2】…9月22日（金）

(3) 各部会における提出資料【別紙様式3～10、その他提出資料】…10月12日（木）

※提出期限までに提出が困難な場合は、事前に連絡すること。

3 提出方法

1の提出資料について、それぞれ下表の左欄の参加者の区分に応じ、右欄の者において取りまとめて提出すること。

なお、1(3)の「各部会における提出資料」については、別途の指定がない限り、協議ごとと一つのpdfファイル(例：小学校国語部会の協議①の提出資料で一つのpdfファイル、同部会の協議②の提出資料で一つのpdfファイル等)にまとめて提出すること。(※詳細は別添3～5を参照のこと)

参加者の区分	とりまとめ
各都道府県・指定都市教育委員会	各都道府県・指定都市教育委員会
国立・公立大学法人附属学校	附属学校を置く各国公立大学法人
都道府県私立学校担当部局、都道府県私立学校協会及び私立学校等	各都道府県私立学校担当部局

4 提出先

- (1) 参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書【別紙様式1】、(2) 教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式2】

教育課程課教育課程第三係(kyoiku3@mext.go.jp)宛てに電子メールで提出すること。その際、電子メールの件名は、「都道府県・指定都市番号【〇〇県(公)、〇〇市(公)、〇〇大(国)、〇〇大(公)、〇〇県(私)】小中協議会」とする。

(北海道教育委員会の例：01【北海道(公)】小中協議会)

- (3) 各部会における提出資料【別紙様式3～10、その他提出資料】

クラウドストレージサービス「Box」内の各部会フォルダに提出し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで報告すること。ただし、「Box」内への提出ができない場合は、ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。

※クラウドストレージサービス「Box」のURL等については、別添5を参照すること。

5 資料について

- (1) 各部会資料等は、文部科学省より各部会開催の1週間前までに参加者に電子メールにて送付する予定である。参集する者に対して部会当日に紙媒体の配布は行わないので留意すること。
- (2) (1)の電子メールが各部会開催の1週間前までに届かない場合には、教育課程課教育課程第三係に問い合わせること。

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局教育課程課
教育課程第三係(山本、林)

電話：03-5253-4111(内線3706)

電子メールアドレス：kyoiku3@mext.go.jp

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会 実施要項

1 目的

小学校及び中学校学習指導要領の趣旨の実現を目指し、教育課程の編成及び実施上の諸問題に関する研究協議、情報交換等を行い、もって小学校及び中学校における教育課程の適切な実施を図ることを目的とする。

2 主催

文部科学省

3 共催

国立教育政策研究所

4 部会構成

(小学校) 次の14部会とする。

「総則」「国語」「社会」「算数」「理科」「生活」「音楽」「図画工作」「家庭」「体育」「道徳」「外国語活動・外国語」「総合的な学習の時間」「特別活動」

(中学校) 次の13部会とする。

「総則」「国語」「社会」「数学」「理科」「音楽」「美術」「保健体育」「技術・家庭」「外国語」「道徳」「総合的な学習の時間」「特別活動」

※中学校「技術・家庭」部会については、技術分野と家庭分野で別日とする。

※「総合的な学習の時間」部会は、21日～22日午前の1.5日開催。

※「総則」部会、「総合的な学習の時間」部会、「特別活動」部会は、小・中学校合同開催とする。うち、「総合的な学習の時間」部会は、一部日程で「高・総合的な探究の時間」部会とも合同で開催する。

5 期日

11月9日(木)	「小中・総則」「小・理科」「小・体育」
11月10日(金)	「中・理科」「中・保健体育」
11月13日(月)	「小・国語」「小・生活」「小・図画工作」「小・家庭」
11月14日(火)	「中・国語」「中・美術」「中・家庭」
11月15日(水)	「小・道徳」「中・音楽」
11月16日(木)	「小・算数」「小・音楽」「中・道徳」
11月17日(金)	「中・数学」
11月20日(月)	「小中・特別活動」「中・社会」
11月21日(火)	「小中・総合的な学習の時間」「小・社会」
11月22日(水)	「小中・総合的な学習の時間」
11月27日(月)	「小・外国語活動・外国語」
11月28日(火)	「中・外国語」
12月1日(金)	「中・技術」

6 日程

9:30	10:00	12:00	13:00	15:30	16:00
受付	部会①	休憩	部会②	講評	

※日程の詳細については、部会ごとに異なる。

7 開催方法

Zoom を使用し、ハイブリッド形式（参加者が会場への参集又はオンラインでの参加を選択する形式）により開催する。

8 会場

独立行政法人国立青少年教育振興機構国立オリンピック記念青少年総合センター
（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

小・中学校 総 則	11月 9日 (木) センター棟501	小・中学校 総合的な学習の時間	11月21日 (火) 11月22日 (水) センター棟101
小 学 校 国 語	11月13日 (月) センター棟311	小・中学校 特別活動	11月20日 (月) センター棟309・310
小 学 校 社 会	11月21日 (火) センター棟311	中 学 校 国 語	11月14日 (火) センター棟311
小 学 校 算 数	11月16日 (木) センター棟416	中 学 校 社 会	11月20日 (月) センター棟311
小 学 校 理 科	11月 9日 (木) センター棟311	中 学 校 数 学	11月17日 (金) センター棟416
小 学 校 生 活	11月13日 (月) センター棟101	中 学 校 理 科	11月10日 (金) センター棟311
小 学 校 音 楽	11月16日 (木) センター棟310	中 学 校 音 楽	11月15日 (水) センター棟310
小 学 校 図画工作	11月13日 (月) センター棟310	中 学 校 美 術	11月14日 (火) センター棟310
小 学 校 家 庭	11月13日 (月) センター棟416	中 学 校 保健体育	11月10日 (金) センター棟310
小 学 校 体 育	11月 9日 (木) センター棟310	中 学 校 技 術	12月1日 (金) センター棟311
小 学 校 道 徳	11月15日 (水) センター棟101	中 学 校 家 庭	11月14日 (火) センター棟416
小 学 校 外国語活動・外国語	11月27日 (月) センター棟416	中 学 校 外 国 語	11月28日 (火) センター棟416
		中 学 校 道 徳	11月16日 (木) センター棟101

※会場の所在地、連絡先、案内図等については、別添2を参照のこと。

9 参加者

(1)対象者

①都道府県・指定都市教育委員会

各都道府県・指定都市において下記の者から選出することとする。

- i) 各都道府県・指定都市教育委員会の各教科等担当指導主事
- ii) 各都道府県・指定都市において指導的立場にある教員のうち、都道府県又は指定都市教育委員会の推薦する者

②国立・公立大学法人附属学校

参加を希望する国立・公立大学法人附属学校の校長、教頭又は教員

③都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等

参加を希望する都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等の担当者

※ 本協議会は、各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事を主な参加者として念頭においていたものであり、協議内容も指導主事としての立場を踏まえた内容とする予定である。国立・公立大学法人附属学校及び都道府県私立学校担当部局、私立学校協会、私立学校等におかれては、そのような位置付けの協議会であることを理解の上、参加の可否を検討されたい。

(2)人数

参加者として登録する者（協議に参加し、発言する者）については、上記(1)①～③の区分ごとに原則以下の通りとし、参加者は参加方法（参集又はオンライン）を選択すること。

- ・ 1部会につき1名とする。
- ・ 中学校技術・家庭部会については、技術分野と家庭分野で別日とするため、技術分野担当、家庭分野担当各1名とする。
- ・ 総則部会、総合的な学習の時間部会、特別活動部会については、小・中学校合同開催とするため、合計2名の参加も可能とする。
- ・ 特段の事情により参加者を上記人数より増やしたい希望がある場合は、参加者登録の際に別途相談すること。
- ・ 諸事情により、参加者の出席が叶わなくなった場合は、代理参加者を選定し、速やかに教育課程課教育課程第三係に報告すること。

1 0 各部会における行政説明のオンデマンド配信視聴について

(1)対象者

- ①各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事等
 - ②国立・公立大学法人附属学校の校長、教頭又は教員
 - ③都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等の担当者
 - ④市町村教育委員会の指導主事
- ※①②③の各都道府県・指定都市教育委員会等においては、参加者以外の者が、オンデマンド配信の視聴を希望する場合は、(3)の方法により申請すること。
- ※各都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会に対して周知すること。

(2)配信内容の範囲及び配信方法

全ての部会において、文部科学省による行政説明の部分について、後日オンデマンド配信を行う。各部会終了後、1～2週間以内に順次文部科学省 **youtube** サイトに限定公開かつ期間限定（1か月程度）で動画を掲載する予定である。掲載後、**youtube** リンク等の視聴方法を(3)により申請のあった各都道府県・指定都市教育委員会等に送付する。申請のあった市町村教育委員会に対しては、各都道府県教育委員会を通じて上記リンク等を連絡することとする。

(3)申請にあたっての留意事項

- ・(1)①②③の各都道府県・指定都市教育委員会等は、視聴希望のある場合、別紙様式1により申請すること。
- ・(1)④市町村教育委員会の視聴希望は、各都道府県教育委員会がとりまとめて申請すること。

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
会場所在地・連絡先・案内図

○国立オリンピック記念青少年総合センター

住所：東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL：03-3469-2525

＜最寄り駅から＞

- ・小田急線

参宮橋駅下車 徒歩約7分

- ・地下鉄千代田線

代々木公園駅下車(代々木公園方面4番出口)

徒歩約10分

＜京王バス＞

- ・新宿駅西口(16番)より

代々木5丁目下車

- ・渋谷駅西口(40番)より

代々木5丁目下車



参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書【別紙様式1】の 作成及び提出方法について

1-1 参加者名簿の作成について

以下の①～⑨の要領で作成すること。

- ① 1列目には都道府県・指定都市番号を半角数字で、2列目には都道府県・指定都市名を記入すること。いずれも参加者全員について記入することとし、空白や「/」などとほしないこと。「都」「道」「府」「県」「市」は省略しないこと。
- ② 3列目にはドロップダウンリストから国立、公立、私立を選択すること。
- ③ 4列目には氏名を、5列目にはふりがなを、6列目には所属及び職名を記入すること。姓と名の間及び所属と職名の間は全角で1文字空けること。
- ④ 7列目には指導主事として従事した通算年数を記入すること。
- ⑤ 8列目には日常の業務で担当している校種及び教科等を記入すること。
- ⑥ 9列目にはドロップダウンリストから部会名を選択して記入すること。後日、部会ごとの参加者名簿を作成するため、部会名については必ずドロップダウンリストから選択し、誤りがないよう記入すること。
※中学校「技術・家庭部会」は、技術分野・家庭分野で選択肢が分かれているので、特に誤りがないよう記入すること。
- ⑦ 10列目にはドロップダウンリストから参加方法を選択して記入すること。
- ⑧ 11列目には参加者本人に連絡可能なメールアドレスを記入すること。後日、このメールアドレスに部会ごとの資料等を電子データで送付するので、必ず参加者本人に連絡できるメールアドレスを記入すること。
- ⑨ 12列目には特記事項があれば記入すること。

<留意事項>

- 外字は使用しないこと。代替可能な文字がない場合は、メールで送信するファイルでは当該文字を「?」とし、併せてPDF化した名簿をメールで送信すること。
- 文字のセンタリングや均等割付、罫線等の装飾は行わないこと。

1-2 オンデマンド配信視聴希望申請書の作成について

以下の①～③の要領で作成すること。

- ① 「オンデマンド配信視聴希望」の欄に、ドロップダウンリストから○又は×を選択し記入すること。
- ② 「主な視聴希望者」の欄に、ドロップダウンリストから選択し記入すること。
- ③ ②において「市町村教育委員会」又は「都道府県教育委員会＋市町村教育委員会」を選択した場合は、「視聴を希望する市町村教育委員会数／管内の市町村数」の欄に、視聴を希望する市町村教育委員会数（A）、管内の市町村数（B）を、（A）／（B）の形式で記入すること。なお、視聴希望数が確定していない場合は、見込みの数を記入すること。

<留意事項>

- 市町村教育委員会の視聴希望は、各都道府県が取りまとめて申請すること。

2 提出方法について

教育課程課教育課程第三係 (kyoiku3@mext.go.jp) 宛てに電子メールで提出すること。

○ 添付ファイル名については、以下のとおりとする。

・都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府縣市名(公)】小中協議会参加者名簿

<記入例>01【北海道(公)】小中協議会参加者名簿

・国立・公立大学法人附属学校の場合

都道府県・指定都市番号【大学名(国・公)】小中協議会参加者名簿

<記入例>10【群馬大(国)】小中協議会参加者名簿

・都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名(私)】小中協議会参加者名簿

<記入例>20【長野県(私)】小中協議会参加者名簿

3 その他

○ 都道府県・指定都市番号について

01 北海道	02 青森県	03 岩手県	04 宮城県
05 秋田県	06 山形県	07 福島県	08 茨城県
09 栃木県	10 群馬県	11 埼玉県	12 千葉県
13 東京都	14 神奈川県	15 新潟県	16 富山県
17 石川県	18 福井県	19 山梨県	20 長野県
21 岐阜県	22 静岡県	23 愛知県	24 三重県
25 滋賀県	26 京都府	27 大阪府	28 兵庫県
29 奈良県	30 和歌山県	31 鳥取県	32 島根県
33 岡山県	34 広島県	35 山口県	36 徳島県
37 香川県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県
41 佐賀県	42 長崎県	43 熊本県	44 大分県
45 宮崎県	46 鹿児島県	47 沖縄県	48 札幌市
49 仙台市	50 さいたま市	51 千葉市	52 川崎市
53 横浜市	54 相模原市	55 新潟市	56 静岡市
57 浜松市	58 名古屋市	59 京都市	60 大阪市
61 堺市	62 神戸市	63 岡山市	64 広島市
65 北九州市	66 福岡市	67 熊本市	

※ 国公立大学法人については、事務局本部が所在する都道府県番号を使用するものとする。

教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式2】 の作成及び提出方法について

1 趣旨

教育課程に関する質問のうち、部会全体で考え方を確認・共有すべき事項がある場合、当日、可能な範囲で精選して回答するものである。

2 作成について

- 別紙様式2により、各部会の質問事項をまとめて1つのシートで作成すること。
- 所定の欄に、都道府県・指定都市番号（別添3参照）、都道府縣市名・学校名等（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）を記入し、部会名をドロップダウンリストから選択すること。
- 「質問事項」欄には、教育課程に関して文部科学省に質問がある場合は部会ごとに3問を限度として簡潔に質問内容を記述すること。なお、質問事項がない場合、提出の必要はない。
- 「考え方」欄には、質問事項について問合せがあった際、どのような回答を行っているかなど、都道府縣市等としての考え方を記述すること。

3 提出方法について

教育課程課教育課程第三係（kyoiku3@mext.go.jp）宛てに電子メールで提出すること。

○ 添付ファイル名については、以下のとおりとする。

- ・ 都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府縣市名（公）】小中協議会質問事項

<記入例>01【北海道（公）】小中協議会質問事項

- ・ 国立・公立大学法人附属学校の場合

都道府県・指定都市番号【大学名（国・公）】小中協議会質問事項

<記入例>10【群馬大（国）】小中協議会質問事項

- ・ 都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】小中協議会質問事項

<記入例>20【長野県（私）】小中協議会質問事項

各部会における提出資料の作成及び提出方法について

1 作成について

- 別添6を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成すること。
- 所定の欄に、部会名、都道府県・指定都市名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）、都道府県・指定都市番号（別添3参照）、担当指導主事名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は参加者名）を記入すること。
- 国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等からの参加者についても、可能な範囲で作成し、提出すること。

2 提出方法について

クラウドストレージサービス「Box」内の各部会フォルダに提出し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係 (kyoiku3@mext.go.jp)宛てに電子メールで報告すること。ただし、「Box」内への提出ができない場合は、ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。各部会フォルダのリンクは次頁の表を参照すること。

※ファイルは別途の指定がない限り、協議題ごとに一つの pdf ファイル（例：小学校国語部会の協議①で一つの pdf ファイル、小学校国語部会の協議②で一つの pdf ファイル等）にまとめて提出すること。

- 添付ファイル名については、以下のとおりとする。

- ・ 都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県市名（公）】小中協議会提出資料（部会名）

<例>01【北海道（公）】小中協議会提出資料①（小国語）

01【北海道（公）】小中協議会提出資料②（小国語）

- ・ 国立・公立大学法人附属学校の場合

都道府県・指定都市番号【大学名（国・公）】小中協議会提出資料（部会名）

<例>10【群馬大（国）】小中協議会提出資料①（小国語）

10【群馬大（国）】小中協議会提出資料②（小国語）

- ・ 都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】小中協議会提出資料（部会名）

<例>20【長野県（私）】小中協議会提出資料①（小国語）

20【長野県（私）】小中協議会提出資料②（小国語）

※「その他提出資料」の場合は「その他提出資料」とし、協議の提出資料に併せて提出するよう依頼された補足資料等の場合は「（部会名）」の後にその旨追記すること。

<例>01【北海道（公）】小中協議会その他提出資料

01【北海道（公）】小中協議会提出資料①（小国語）補足資料

部会名	フォルダリンク
小中・総則	https://mext.ent.box.com/f/3e6ab3941b0c41c3829493aba68a5cb6
小・国語	https://mext.ent.box.com/f/02650442b3084ae7b7f6cd7caf99f75b
小・社会	https://mext.ent.box.com/f/625313ae7d234bf185c8c622f460e228
小・算数	https://mext.ent.box.com/f/a9fff03e6d4f49ccb2dcb86695577103
小・理科	https://mext.ent.box.com/f/bcc5cb6d192243a193bf86e86b1f2a01
小・生活	https://mext.ent.box.com/f/b8d897687d5b4b0fa8fb6d06e03fd582
小・音楽	https://mext.ent.box.com/f/87577a6b715641578bd519f7931520f9
小・図画工作	https://mext.ent.box.com/f/50c33b6b56334fb5b40e678e791042a4
小・家庭	https://mext.ent.box.com/f/c86e08e7ca3b45d9bf85d796cba67be7
小・体育	https://mext.ent.box.com/f/5ed8763e9c9849cda423176b523c397d
小・道徳	https://mext.ent.box.com/f/8824ec45560c4b688f20d9e3eb853dd1
小・外国語活動・外国語	https://mext.ent.box.com/f/b2c55c06fe4e464a886d9592f8cf4a51
小中・総合的な学習の時間	https://mext.ent.box.com/f/5a8c6ee30f9e4d77a46a88c12f6f22d3
小中・特別活動	https://mext.ent.box.com/f/c91be5bfac5c44b591b2a14bc0a6869c
中・国語	https://mext.ent.box.com/f/b3b0be92873441a28b8cd85d548f0c3a
中・社会	https://mext.ent.box.com/f/b2c0b78197b443c0aab9f10e0aafd268
中・数学	https://mext.ent.box.com/f/726d4619a5e44aed9e7bb046da701fe5
中・理科	https://mext.ent.box.com/f/9b11653a0c9944a7ace915698a24960e
中・音楽	https://mext.ent.box.com/f/c6cae1fa177948cc83e08f5c0d3538ef
中・美術	https://mext.ent.box.com/f/0c363dbd881142dcac6e22d78c28f8ff
中・保健体育	https://mext.ent.box.com/f/b1e6c6731fb04c0998b394f79c7f6b10
中・技術	https://mext.ent.box.com/f/9a8d94b73f1b4786b05a781dcc933e14
中・家庭	https://mext.ent.box.com/f/1da24ff0e1694f4c9b9f21b2f243ea64
中・外国語	https://mext.ent.box.com/f/1e0651816b9d40fa95f93a6572624a11
中・道徳	https://mext.ent.box.com/f/da0ec64fbc784405a49056b32998badf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小中学校 総則部会

協議①		
協議題	教科等横断的な視点に立った教育課程の編成・実施の推進について 【協議の視点】 ①教育活動の質を向上させるカリキュラム・マネジメントの取組 ②学習の基盤となる資質・能力の育成 ③現代的な諸課題に対応する資質・能力の育成 ④児童生徒や学校、地域の実態に応じた取組	
趣旨	学習指導要領では、児童生徒の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること、また、児童生徒や学校、地域の実態及び児童生徒の発達の段階を考慮し、豊かな人生の実現や災害等を乗り越えて次代の社会を形成することに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断的な視点で育成していくこととされている。 そこで、本協議では、各学校が目指す資質・能力の育成に向け、教科等横断的な視点に立った教育課程の編成・実施を推進するための、教育委員会の役割と支援の在り方について協議を行うこととする。	
提出資料	域内の小中学校における、【協議の視点】を踏まえた教科等横断的な視点に立った教育課程の編成・実施が行われている、又はそれに向けて努力している事例	
作成様式	別紙様式4	
提出資料作成に当たったの留意事項	・域内の小中学校における、【協議の視点】を踏まえた教科等横断的な視点に立った教育課程の編成・実施が行われている、又はそれに向けて努力している事例について、できるだけ具体的に記入すること。また、様子が分かる資料などがあれば、画像などで示すこと。 ・ページ数の上限はなし。 【協議の進め方】 当日は、持ち寄った事例をもとに、各取組にあつた課題や工夫点を共有しながら、教育委員会の役割と支援の在り方について、グループ内で協議を行う。	
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)		
提出資料	協議①の提出資料の関連資料 (各都道府県・指定都市教育委員会等において、作成している、又は所有している場合は可能な範囲で提出すること。)	
作成様式	任意様式	
提出資料作成に当たったの留意事項	・既存資料を提出すること。教育委員会のホームページ等に掲載されている場合には、URLを提出すること。 ・提出資料の1ページ目の余白(原則として資料上部)に、部会名・都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。 ・事例に関する資料は、協議中に共有をしていただく等、協議においても積極的に活用いただきたい。	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名 小学校学習指導要領(平成29年告示) 中学校学習指導要領(平成29年告示)
	用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1413522_001.pdf https://www.mext.go.jp/content/1413522_002.pdf
	②	資料名 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編
	用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20230308-mxt_kyoiku02-100002607_001.pdf https://www.mext.go.jp/content/220221-mxt_kyoiku02-100002180_003.pdf


令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 国語部会

協議①		
協議題	小学校国語科における学習評価の課題について	
趣旨	資質・能力の育成に向けて学習評価の理解と実施の充実は必須である。小学校学習指導要領全面実施4年目となり各学校における授業実践の状況を踏まえて見えてきた課題を整理するとともに、資質・能力の育成に向けた授業実践の充実に資する学習評価の在り方について協議し、よりよい学校支援の方法の充実を探る。	
提出資料	貴管内における実態を踏まえ、以下の2点について、それぞれの項目を分けて具体的に記述すること。 (1) 貴管内における授業実践の状況を踏まえた学習評価に関する課題 (2) (1)の課題が表れている授業実践の具体的な場面と学習評価の実際	
作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たったの留意事項	(1)について 以下の課題例を参考に、具体的に課題を記述すること。 ・学習評価を行う時期と方法 ・知識・技能と思考・判断・表現の関係 ・評価場面の実際 ・主体的に学習に取り組む態度の評価の実際 等 (2)について 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』(第3編 5 観点別学習状況の評価の仕方)等を参考に、授業実践の具体的な場面と学習評価の実際を記述すること。 (1)(2)を合わせてA4判4ページ以内で記述すること。 【協議の進め方】 ①小グループに分かれ持ち寄った提出資料から課題を共有する。 ②資質・能力の育成に寄与するための学習評価についての学校支援の在り方について協議する。 ③課題解決に向けて、現場の理解を進めるためのポイントとなる点について報告共有する。	
協議②		
協議題	小学校国語科における全国学力・学習状況調査で明らかになった課題を改善するための授業実践について	
趣旨	R3年度調査以降、全国学力・学習状況調査で明らかとなった課題(①～⑨)について、貴管内において改善のための施策、研修等に応じて取り組まれてきたかについて情報交換を行い、課題が解決された目指すべき子供の姿とそれを生む授業実践のポイントを協議し、課題の改善に向けた授業実践の展開を加速させる。	
提出資料	貴管内において取り組まれた全国学力・学習状況調査で明らかとなった課題(①～⑨)について1つ選び、改善に向けて取り組まれた施策、研修等の概要と、それを受けて取り組まれた授業実践についての報告。	
作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たったの留意事項	①～⑨から1つ課題を選び、改善に向けて取り組まれた施策、研修等の概要と、それを受けて取り組まれた授業実践について適宜項目を立て、A4判4ページ以内で報告すること。 なお、授業実践の部分については、指導主事として課題の改善状況についての判断を示したうえで、単元の目標、指導と評価の計画、本時展開については、必ず項目を立てて報告すること。 【明らかになった課題】 ①互いの立場や意図を明確にしながらかつ計画的に話し合い、自分の考えをまとめること ②目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること ③図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること ④文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること ⑤目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること ⑥人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること ⑦文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること ⑧原因と結果など情報と情報との関係について理解すること ⑨情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと 【協議の進め方】 ①同様の課題を選択した自治体等で小グループをつくり、課題改善に向けた取組等の情報交換を行う。 ②持ち寄った授業実践を共有し、課題が解決された子供の姿はどのようなものかを協議する。 ③②の姿を授業実践の中で実現させるための授業実践のポイントを協議する。必要に応じて、追加の助言や学校支援等も合わせて協議すること。 ④課題が解決された目指すべき子供の姿とそれを生み出す授業実践のポイントを報告共有する。	
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)		
提出資料	全国学力・学習状況調査で明らかになった課題に対する取組における資料等	
作成様式	任意様式	
提出資料作成に当たったの留意事項	協議②の提出資料に加えて、追加で配布資料等がある場合や、さらに、貴管内において協議②では扱わなかった課題に対して、資料等がある場合、追加で提出すること。 紙ベースでなくても、リンク先のみでの提供でも可。	
その他会部会当日に用意しておく資料	①	資料名 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編
	用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20220606--mxt_kyoiku02-100002607_002.pdf
	②	資料名 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 国語】
用意しておく箇所	資料全体	
インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf	

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 社会部会

協議①			
協議題	「社会的事象の見方・考え方を働かせ、問題解決的な学習を通す」社会科学学習について		
趣旨	小学校社会科学学習において「社会的事象の見方・考え方を働かせること」「問題解決的な学習を通すこと」について、学校現場の現状や課題を共有し、授業改善の手立てや課題に関する情報交換を行うとともに、今後の授業改善に向けての取組について協議を行うことで、その推進を図る。		
提出資料	小学校社会科における「社会的事象の見方・考え方を働かせること」「問題解決的な学習を通すこと」についての、現状と課題、課題の改善策について		
作成様式	アンケートフォームより回答		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<p>下記URLからアンケート回答フォームにアクセスし、回答すること。なお、本協議会参加者自身の理解で答えていただければ十分であり、本アンケートについて域内の学校に展開することは控えていただきたい。 アンケート回答フォーム：https://forms.office.com/r/E1DqhFYpa5</p>  <p>【協議の進め方】 アンケートの回答結果を基に、グループごとに、授業改善の現状や課題についての情報交換及び、課題に対する今後の取り組みについて協議を行う。協議内容について、発表を通じて全体共有を図る。</p>		
協議②			
協議題	小学校社会科における主権者として求められる資質・能力を育む教育の推進について		
趣旨	小学校社会科における主権者として求められる資質・能力を育む教育の推進について、授業改善の現状や課題に関する情報交換を行うとともに、今後の推進に向けての取組について協議を行うことで、その推進を図る。		
提出資料	小学校社会科における主権者として求められる資質・能力の育成に係る事例(単元計画及び本時の授業計画と授業の実際)を1つ		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<p>小学校社会科における以下の内容について、「社会的事象の見方・考え方を働かせ、問題解決的な学習を通して」資質・能力を養うような授業設計になっている事例(単元計画及び本時の授業計画と授業の実際)を1つ提出すること。提出資料には、(Ⅰ)学年、単元名、(Ⅱ)単元計画、(Ⅲ)本時の授業計画、(Ⅳ)授業の実際、を記載することとし、A4判4ページ以内でまとめること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年 <ul style="list-style-type: none"> (1)身近な地域や市の様子 (3)地域の安全を守る働き(★) (4)市の様子の移り変わり ・第4学年(2)人々の健康や生活環境を支える事業(★) <ul style="list-style-type: none"> (3)自然災害から人々を守る活動 (4)「県内の伝統や文化、先人の働き」(★) ・第5学年 <ul style="list-style-type: none"> (2)(3)(4)我が国の食料生産、工業生産、産業と情報の関わり(★) (5)我が国の国土の自然環境と国民生活との関連(★) ・第6学年 <ul style="list-style-type: none"> (1)我が国の政治の働き (3)グローバル化する世界と日本の役割(★) <p>(補足1) (★)がついている内容の事例を提出する場合は、本時の授業計画と授業の実際は「社会への関わり方を選択・判断する学習活動」場面とすること。 (補足2) 事例の提出に当たっては、令和5年6月20日に開催した「令和5年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会 小学校社会科部会」の送付資料③-4-1を参考にすること。</p> <p>【協議の進め方】 行政説明をした後、グループごとに、授業改善の現状や課題についての情報交換及び、課題に対する今後の取り組みについて協議を行う。協議内容について、発表を通じて全体共有を図る。</p>		
その他部会当日に手元 用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20230308-mxt_kyoiku02-100002607_003.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 社会】
	用意しておく箇所	資料全体	
	インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_shakai.pdf	

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 算数部会

協議①			
協議題	「基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力」を育成する授業とは		
趣旨	算数科の目標に今回初めて、「基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力」と明記された。この内容の具体について、理解を深めることを目的とする。		
提出資料	小学校算数科において、「基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力」を育成する授業の具体例		
作成様式	別紙様式5		
提出資料作成に当たっての留意事項	別紙様式5を用いて、 A4判2ページ以内 でまとめること。 【協議の進め方】 グループ内で提出事例のポイントを整理し、事例に即して具体的に実践上の課題及びその解決に向けた取組を協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。		
協議②			
協議題	「数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力」を育成する授業とは		
趣旨	算数科の目標に今回初めて、「数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力」と明記された。この内容の具体について、理解を深めることを目的とする。		
提出資料	小学校算数科において、「数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力」を育成する授業の具体例		
作成様式	別紙様式6		
提出資料作成に当たっての留意事項	別紙様式6を用いて、 A4判2ページ以内 でまとめること。 【協議の進め方】 グループ内で提出事例のポイントを整理し、事例に即して具体的に実践上の課題及びその解決に向けた取組を協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。		
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
提出資料	各地域内において、 1. 算数を単独の研究教科としている学校の数 2. 学校の名称及び研究内容(3校程度) について簡潔にまとめた資料		
作成様式	別紙様式7		
提出資料作成に当たっての留意事項	・指導主事の皆様方から「他県における優れた実践が知りたい」というご要望が多いため、集めることとする。 ・昨年の例としては、「算数の優れた研究をしている学校に視察に行きたいので知りたい」「評価について研究している学校に伺いたい」などがあった。 ・ A4判1ページ程度 で作成すること。		
その他部会当日に手元に 用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002607_04.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 算数】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyoka/r020326_pri_sansu.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 理科部会

協議①			
協議題	小学校理科における観察、実験の充実を図る観点から、事故防止への取り組みと環境整備(理科室、教材園等)について		
趣旨	観察、実験の充実を図る観点から、事故防止への取り組みと環境整備(理科室、教材園等)について共有し、貴管内における今後の対応の参考とする。		
提出資料	①事故防止への取り組みと環境整備(理科室、教材園等)についての好事例 ②事故防止への取り組みと環境整備(理科室、教材園等)に係る都道府県・政令指定都市教育委員会における研修、資料作成等の取り組み(附属学校等については学校としての取り組み)		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・①、②あわせてA4判1ページ程度で作成すること。 ・取組については、参加者の参考となるように写真等を掲載するなど具体的に記載すること。 ・学校名などを明らかにする場合には、必ず事前に許可を得る。 <p>【協議の進め方】 好事例、研修、資料作成等の取組から、観察、実験の充実を図るためのよりよい取組を協議する。協議した内容はグループごとに発表し、全体で情報を共有する。</p>		
協議②			
協議題	小学校理科における「主体的に問題解決しようとする態度」の涵養に向けた指導と評価について		
趣旨	「主体的に問題解決しようとする態度」の涵養に向けた指導と評価の事例について共有し、貴管内における今後の対応の参考とする。		
提出資料	「主体的に問題解決しようとする態度」の涵養に向けた指導と評価の実践事例		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判2ページ程度で作成すること。 ・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 理科編では、「主体的に問題解決しようとする態度」として、「意欲的に自然の事象・現象に関わろうとする態度」「粘り強く問題解決しようとする態度」「他者と関わりながら問題解決しようとする態度」「学んだことを自然の事象・現象や日常生活に当てはめてみようとする態度」などを示しているため、その中から1つもしくは複数を選択して示すこと。 ・「指導と評価の一体化」のための参考資料【小学校理科】の事例4を参考に、「単元の評価規準」「指導と評価の計画」等で、単元全体で育成を目指す資質・能力を示したうえで、「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価のポイントが分かるようにまとめること。 ・実践事例の提示が困難な場合は、貴教育委員会等で作成した指導事例等でもよい。(その場合は、その旨を明示する) <p>【協議の進め方】 実践事例から、その実践が「主体的に問題解決しようとする態度」の涵養に向かっているかなどについて協議する。協議した内容はグループごとに発表し、全体で情報を共有する。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 理科編
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387014.htm
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 理科】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_rika.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 生活部会

協議①			
協議題	年間を通じて他教科等と合科的・関連的な指導が積極的に図られた事例について		
趣旨	本年6月に実施した担当指導主事連絡協議会における協議を踏まえ、協議題に係る事例を持ち寄り協議を行う。このことで、生活科における学習活動が他教科等での題材となったり、生活科で身に付けた資質・能力を他教科等で発揮したり、他教科等で身に付けた資質・能力が生活科において発揮されたりして確かに育成されるなど、一層の学習の効果がある事例における知見を深める。このことは、低学年教育を一層充実するために、生活科が教科等の結節点としての役割があることを改めて理解することにつながる。		
提出資料	年間を通じて他教科等と合科的・関連的な指導が積極的に図られた事例		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各都道府県・指定都市で実施した指導・助言を含めて、A4判1ページで作成すること。(附属学校等については学校としての取組) ・各都道府県、指定都市教育委員会や域内の市町村教育委員会が、学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。 ・1ページ目の余白(資料右上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。なお、資料が複数ページになる場合であっても必要最小限の資料のみ1つのPDFファイルにとりまとめ、ページ下部中央にページ番号を挿入すること。(様式は任意) <p>【協議の進め方】 本資料をもとに、グループごとに情報共有した後、教員が合科的・関連的な指導の工夫ができるようになるために、教育委員会として求められる取組について協議を行う。</p>		
その他部会当日に手元 用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 生活編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_jcsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_006.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 生活】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_seikat.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 音楽部会

協議①			
協議題	学習指導要領の実施における小学校音楽科の課題とその対応及び成果について		
趣旨	各地域における授業実践の好事例や、研修等での周知や協議の内容等について情報交換するとともに、学習指導要領の実施における小学校音楽科の課題とその対応及び成果について研究協議を行う。		
提出資料	協議題に係る以下の2点の両方又はいずれかについて具体的に報告するとともに、その成果と課題について考察し記述すること。 (1) 貴管内における授業実践の好事例 (2) 貴管内における研修等での周知や協議の内容		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	A4判2ページ以内に項目を立ててまとめること。 また、参考として都道府県市作成の既存資料があれば提出してもよい。 【協議の進め方】 当日は、グループ内で提出資料の概要を報告し、その内容を基に成果と課題及びその解決に向けた取組について協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_007.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 音楽】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_ongak.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 図画工作部会

協議①			
協議題	造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成を目指した授業の実際		
趣旨	造形遊びをする活動の授業実践について共有し、その事例がどのように資質・能力の育成を図ろうとしたのか、指導と評価の工夫の視点から協議する。		
提出資料	造形遊びをする活動の実践事例		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>○各都道府県、指定都市における造形遊びをする活動の実践事例を、A4判2ページ程度にまとめること。 ○子供が発揮している資質・能力を教師がどのように評価し、指導に生かしたかについても記述すること。 ○学年、形式は問わない。(複数学年でも可)次のことが分かるように記述することが考えられる。 ・題材名 ・実践学年 ・題材の目標 ・題材の概要(題材設定や指導の工夫について) ・評価規準 ・指導と評価の計画 ・授業展開(本時のみでも可) ・成果と課題 など</p> <p>【協議の進め方】 提出資料の具体的な事例をもとに、造形遊びをする活動を通して資質・能力の育成について、指導と評価の工夫の視点からグループで協議する。その際、代表者がポイントを簡潔にまとめる。</p>		
協議②			
協議題	造形遊びをする活動の充実に向けて		
趣旨	造形遊びをする活動の一層の充実を図り、児童の資質・能力を育成していくために、授業づくりをしていく上で課題となること、課題の解決に向けた自治体としての取組について共有し、指導主事としての学校支援の在り方について協議する。		
提出資料	<p>次の内容について記載すること。 ・協議①の実践事例について、好事例とした理由(事例の評価) ・今後、造形遊びをする活動の趣旨の周知、指導に際して取り組んでいきたいこと</p>		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>○A4判1ページ程度にまとめること。 ○項立ては任意とする。 ※指導・助言の際に使った資料があれば、別添すること。</p> <p>【協議の進め方】 午前中の協議を踏まえ、各都道府県、指定都市の現状や学校での取組状況も交えて、造形遊びをする活動のさらなる充実に向けてポイントを協議する。代表者がポイントを簡潔にまとめ、グループごとに発表し、全体で共有する。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 図画工作編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_008.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 図画工作】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_zugak.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 家庭部会

協議①		
協議題	「問題を見だし、課題を設定する」学習過程の充実	
趣旨	家庭科における「問題を見だし、課題を設定する」学習過程の充実に向けて、持ち寄った事例の共有・意見交換を行い、今後の学校への指導・助言に活かす。	
提出資料	「問題を見だし、課題を設定する」学習過程の事例を1事例	
作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>・「問題を見だし、課題を設定する」場面と、その充実のための支援(国立大学法人附属学校からの参加者については、教師の手立ての具体)について、A4判2ページ以内でまとめること。</p> <p>・具体的には、以下の①②をまとめ、提出すること。なお、提出資料に関わって資料を添付することも可能である。</p> <p>①授業の様子分かるもの(学習指導案等)</p> <p>②①について、A～Cのうち、自身の所属に応じて記述する</p> <p>A:教育委員会の指導主事・・・「問題を見だし、課題を設定する」場面の充実に向けた学校への指導・助言の具体や、指導・助言による教師の変容の具体</p> <p>B:教育センターの指導主事・・・家庭科を指導する教師を対象とした「問題を見だし、課題を設定する」場面の充実に向けた研修講座の内容の工夫や、講座受講後の教師の変容の具体</p> <p>※教育センターの指導主事のうち、実際に学校へ出向き、指導・助言を行った場合は、Aを選択してもよい。</p> <p>C:附属学校からの参加者・・・自身の実践の具体(授業構想の意図、実際の子供の様子、実践の振り返り)</p> <p>【協議の進め方】</p> <p>・前半は、担当教科調査官より現状についての説明と、実践事例の発表を行う(予定)。</p> <p>・後半は、グループごとに、持ち寄った事例を発表し合った上で、「問題を見だし、課題を設定する」学習過程の充実に向けた学校への指導・助言のポイントについて協議し、まとめる。協議後、まとめた内容について全体で発表・共有する。</p>	
協議②		
協議題	学習指導要領の「よりよい実施」に向けた課題と令和6年度に向けた展望	
趣旨	各自治体、各校における学習指導要領の「よりよい実施」に向けた課題を共有し、その解決策を考えることを通して、令和6年度に向けた各自の取組への見直しをもつ。	
提出資料	なし	
作成様式	—	
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>【協議の進め方】</p> <p>・グループに分かれ、各自治体(各校)における学習指導要領の「よりよい実施」に向けて課題と感じていることと、その具体を発表し合う。</p> <p>・グループごとに、出し合った課題の中から1つを取り上げ、課題を解決するためのアイデアを出し合い、まとめる。各グループでまとめた内容について全体で発表・共有する。</p> <p>・発表を受け、各自の「令和6年度に向けた展望(学校への指導・助言に生かしたいこと、研修講座で取り上げたいこと、授業実践で取り組みたいこと等)」としてまとめる。</p>	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 家庭編
	① 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20230411-mxt_kyoiku01_09.pdf
	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 家庭】
	② 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_katei.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 体育部会

協議①			
協議題	体育科の「保健領域」に関する成果と課題及びその対応について		
趣旨	保健領域の学習に関する指導内容や指導方法の工夫について、成果と課題の把握や課題の解決策の検討をすることにより、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の一層の充実を目指す。		
提出資料	・都道府県・指定都市における保健領域に関する成果と課題について ・課題の解決に向けた現状の取組や対応等について		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	提出資料は、以下の点を踏まえて作成すること。 ○A4判1ページにまとめること。 ○都道府県・指定都市における保健領域に関する課題は、以下の内容から選択すること。 ・系統性を踏まえた保健領域の指導について ・現代的健康課題(がん、性、心など)に関する指導の工夫について ・保健領域に関するカリキュラム・マネジメントの充実について ・「保健領域」と「体育領域」との一層の関連を図った指導について ・運動習慣の形成につなげる保健領域の学習について 【協議の進め方】 提出された資料をもとに、グループ内で事例の情報共有、課題解決に向けた協議等を行う。グループ協議後、全体で交流する。		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 体育編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_010.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 体育】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_taiku.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 道徳部会

協議		協議題	全体計画と年間指導計画の工夫について
		趣旨	全面実施6年目となったが、「令和3年度道徳教育実施状況調査」においては、「学校の道徳教育の重点や推進すべき方向について教師間での共通理解や連携を図るための機会の確保」「全体計画の評価・改善(全体計画の「別業」を含む)」が課題であるとの結果が出ている。このような結果を踏まえ、各学校における児童の資質・能力の育成を目指した道徳教育の全体計画(「別業」を含む)や年間指導計画について教育委員会としての指導・助言等の在り方について協議を行う。
		提出資料	<p>貴管内における実態(実施状況調査等の全国調査と各都道府県における調査等の比較)を踏まえ、以下の2点について、A4判1ページ程度でまとめること。(附属学校等については学校としての取組と課題)</p> <p>(1) 全体計画の別業、年間指導計画の作成に基づく、意図的、計画的な道徳教育の充実</p> <p>(2) 年間指導計画の工夫における道徳科の指導の充実</p>
		作成様式	別紙様式B
		提出資料作成に当たっての留意事項	<p>・各実践事例における授業のねらいや活動の目的及びそれらを達成するための効果的な指導や評価について、その方法が明確になるように留意した上で、別紙様式に沿って資料を作成すること。</p> <p>・提出資料について、文部科学省ホームページへの掲載を相談させていただく可能性がある。</p> <p>・参考資料等があれば、上記「提出資料」と併せて、A4判2ページ程度で提出すること。その際、1ページ目の余白(原則として資料上部)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を記入する。(様式は任意)</p> <p>【その他基本的な留意事項】</p> <p>・写真を使用する場合には、顔や名札等の個人を識別することができる情報を隠す等の加工を行うことにより、児童生徒等のプライバシーに十分配慮すること。その際、端末の画面などへの映り込みにも留意すること。</p> <p>・学校名や個人名などを明らかにする場合には、事前に許可を得ること。</p> <p>・別紙を参考に、用語の統一を図ること。</p> <p>・有料のソフトや機能を使用したICT端末を活用した事例など、全ての学校において実践することが困難であると想定される事例においては、教育用に無償で提供されている学習用ツール等を組み合わせることで、同様の事例を実現することが可能なこともあり得ることに留意すること。</p> <p>・資料は厳選したもののみを提出すること。</p> <p>【協議の進め方】</p> <p>提出資料をもとにグループ分けを行い、情報共有した後で協議する。</p>
視聴して おく資料	①	資料名	道徳教育アーカイブ授業動画
		用意しておく箇所	実践事例について(授業映像)
		インターネットでの掲載場所	https://doutoku.mext.go.jp/
その他部会 当日に 手元に 用意しておく 資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20230313-mxt_kyoiku02-100002607_012.pdf
	②	資料名	令和3年度 道徳教育実施状況調査 結果概要
		用意しておく箇所	P.24参照
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/chousa/mext_00080.html

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 外国語活動・外国語部会

協議①	
協議議題	小学校での学習の成果を、中学校教育に円滑に接続することについて
趣旨	小学校学習指導要領 第1章総則 第2教育課程の編成 4学校段階等間の接続(2)にもあるとおり、小学校までの学習の成果が中学校教育に円滑に接続され、育成を目指す資質・能力を児童が確実に身に付けることができるよう工夫する必要がある。そのために、中学校での指導を見据えて、小学校での指導で大切にすべきことについて市区町村教育委員会及び学校に対して指導・助言している内容を、中学校の指導に円滑に接続されていることが分かる小学校の実践事例と、小学校の指導がうまく生かされていることが分かる中学校の実践事例をもとに協議する。
提出資料	①中学校の指導を見据えて、小学校の指導で大切にすべきことについて、市区町村教育委員会及び学校に対して指導・助言している内容 ②①に係って、各都道府県及び指定都市において作成し、市区町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際して使用した資料 ③中学校の指導に円滑に接続されていることが分かる小学校の実践事例(単元構想と単位時間) ④小学校の指導がうまく生かされていることが分かる中学校の実践事例(単元構想と単位時間)
作成様式	①③④別紙様式3 ※共通様式 ②任意様式
提出資料作成に当たっての留意事項	・①は、A4判2ページ以内でまとめる。 ・①に記載する内容は、実施した研修内容や事業についてではなく、中学校の指導を見据えて、小学校の指導で大切にすべきことについて指導・助言した内容についてまとめる。 ・②は、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入する。 ・③④は、小学校と中学校の実践事例をまとめたときに、どの部分が小学校と中学校とが接続されているのかが分かるように、それぞれA4判2ページ程度でまとめる。 【協議の進め方】 当日は、グループ内で実践事例をもとに協議する。グループ協議後、全体で交流する。
協議②	
協議議題	公教育における外国語教育の意義について
趣旨	今後ますますAI(生成AIのみならず従来型のAIを含む)が進展すると予想される中、公教育で外国語教育をする意義について協議する。
提出資料	(提出任意)協議する上で必要と思われる資料
作成様式	任意様式
提出資料作成に当たっての留意事項	・協議する際に必要と思われる資料等がある場合のみ提出する。 ・1ページ目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入する。 【協議の進め方】 当日は、グループ内で協議し、その後全体で交流する。
部会当日までに読んで理解しておく資料	①「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 外国語・外国語活動】 ②「令和5年度英語教育改善プラン」 ③「教育課程実施状況調査」平成15年度調査 英語(国立教育政策研究所) ④「全国学力・学習状況調査」(国立教育政策研究所)【中学校】英語平成31年度・令和5年度調査問題・正答例・解説資料・報告書・調査結果資料 ⑤「第4期教育振興基本計画」(令和5年6月16日閣議決定) ⑥「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会」(令和4年12月22日第1回～) ⑦「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～(令和4年12月19日 中央教育審議会) ⑧「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料」文部科学省初等中等教育局教育課程課(令和3年3月版) ⑨「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(令和3年1月26日 中央教育審議会答申)(令和3年4月22日更新) ⑩「教育課程部会における議論のまとめ」(令和3年1月25日 教育課程部会) ⑪「令和4年度公立小・中学校等における教育課程の編成・実施状況調査の結果について」 ⑫生徒指導要領の改訂版(令和4年12月 文部科学省HP) ⑬「学習者用デジタル教科書実践事例集」文部科学省 2022年3月 ⑭「学習者用デジタル教科書の効果的な活用の在り方等に関するガイドライン」(令和3年3月改定)
インターネットでの掲載場所	① https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_gaikokg.pdf ② https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1418086_00007.htm ③ https://www.nier.go.jp/kaihatsu/katei_h15/index.htm ④ https://www.nier.go.jp/19chousa/19chousa.htm https://www.nier.go.jp/19chousa/19chousa.htm ⑤ https://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/index.htm ⑥ https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/184/index.html ⑦ https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00004.htm ⑧ https://www.mext.go.jp/content/20210428-mxt_kyoiku01-00014639_13.pdf ⑨ https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm ⑩ https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/gaiyou/mext_00629.html ⑪ https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1415063_00001.htm ⑫ https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008_00001.htm ⑬ https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/seido/1407731.htm ⑭ https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/139/houkoku/1412207_00001.htm
当日までに考えて用意しておく箇所	内容 令和5年度英語教育改善プラン推進事業の委託自治体(8自治体:山形県、千葉県、山梨県、静岡県、三重県、大阪府、徳島県、香川県の)取組を、自身の英語教育改善プランと比較しながら読み、令和5年度英語教育改善プランの成果と課題を踏まえた上で、次年度に向けた取組内容について考えをまとめ、交流できるようにしておく。
その他部会当日に参考にしたい資料	資料名 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編
用意しておく箇所	資料全体
インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20220614-mxt_kyoiku02-100002607_11.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小中学校 総合的な学習の時間部会

協議① 小中部会のみで実施			
協議題	総合的な学習の時間を中核に社会に開かれた教育課程を編成し、実施している学校の事例		
趣旨	総合的な学習の時間の目標は、学校の教育目標と直接的につながるという独自の特質を有する。このことから総合的な学習の時間を中核としながら、教育課程全体において、各学校の教育目標のよりよい実現を目指すことになる。そこで、社会に開かれた教育課程の理念の下、総合的な学習の時間を実施している学校の取組から、地域社会と連携・協働していくことの必要性や総合的な学習の時間の役割について協議する。		
提出資料	総合的な学習の時間を中核に社会に開かれた教育課程を編成し、実施している学校の事例		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判1ページで作成すること。(附属学校等については学校としての取組) ・各都道府県、指定都市教育委員会や域内の市町村教育委員会が、学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。 ・1ページ目の余白(資料右上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。 ・資料が複数ページになる場合であっても必要最小限の資料のみ1つのPDFファイルにとりまとめ、ページ下部中央にページ番号を挿入すること。(様式は任意) <p>【協議の進め方】 本資料をもとに、グループごとに情報共有した後、総合的な学習の時間を中核に社会に開かれた教育課程を編成し、実施していくために教育委員会として求められる取組について協議を行う。</p>		
協議② 小中高合同部会として実施			
協議題	総合的な学習の時間を推進し、校外の教育資源を効果的に活用できるようにするための教育委員会としての取組		
趣旨	総合的な学習の時間では、探究的な学習の広がりや深まりを促すために、校外の様々な人や施設、団体等からの支援が欠かせない。さらに、家庭の理解と協力も必要である。このことから、各学校が総合的な学習を充実させるために、教育委員会として求められる取組について協議する。		
提出資料	総合的な学習の時間を推進し、校外の教育資源を効果的に活用できるようにするための教育委員会としての取組		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判1ページで作成すること。(附属学校等については学校としての取組) ・各都道府県、指定都市教育委員会や域内の市町村教育委員会が、学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。 ・1ページ目の余白(資料右上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。 ・資料が複数ページになる場合であっても必要最小限の資料のみ1つのPDFファイルにとりまとめ、ページ下部中央にページ番号を挿入すること。(様式は任意) <p>【協議の進め方】 本資料をもとに、小中学校、高等学校の合同グループごとに情報共有した後、学校種間の「縦」のつながりを踏まえた教育委員会として求められる取組について協議を行う。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総合的な学習の時間編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_013_1.pdf https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_012.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 総合的な学習の時間】 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 総合的な学習の時間】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaiatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_sougou.pdf https://www.nier.go.jp/kaiatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_sougou.pdf
	③	資料名	今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(小学校編) 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(中学校編)
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.htm

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 特別活動部会

協議① 小中合同部会として実施			
協議課題	特別活動で育成を目指す資質・能力の小中の円滑な接続		
趣旨	学習指導要領解説 特別活動編では、例えば、小学校での学級活動における自発的、自治的な活動の指導は、中学校での同活動の指導の基盤となるものであることから、中学校での指導へとつなぐことを意識して指導する考えが示されており、中学校との関連を図っていくことが重要である。 そこで、小中の円滑な接続について、貴管内の児童生徒に育成を目指す資質・能力を明確にした上で実践上の課題、並びに課題の解決に向けた教育委員会としての取組や域内の中学校区の小学校における好事例について共有し、教育委員会としての方策や指導主事として管内の小学校への指導・支援の在り方について協議を行う。		
提出資料	貴管内における実態を踏まえ、以下の2点について、それぞれ項目を設けて具体的に記述すること。 (1)小中の円滑な接続に係る資質・能力の育成と実践上の課題 (2)課題の解決に向けた教育委員会としての取組(附属学校は学校としての取組)		
作成様式	別紙様式9		
提出資料作成に当たったの留意事項	・(2)は、単に小中合同で行う清掃などの取組を示すのではなく、資質・能力の円滑な接続に視点を当てた、教育委員会として小学校に視点を当てた取組について示すこと。 ・現在実施している取組なのか、今後実施すべきと考えられる取組なのか分かるように記載すること。 ・貴管内の中学校区における小中の円滑な接続に関する小学校の好事例がある場合は、資料の最後に「中学校区における小学校の好事例」として示すこと。 ・(1)、(2)あわせてA4判2ページ以内とする。 【協議の進め方】 作成した資料をもとにグループ内で提出事例のポイントを整理し、事例に即して具体的に実践上の課題及びその解決に向けた取組を協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。		
協議② 小学校部会のみで実施			
協議課題	児童の自治的能力を育む学級活動(1)の指導と評価の工夫		
趣旨	特別活動は自治的能力の育成を目指すものである。学級活動(1)は、学級や学校における集団としての生活上の課題を児童が自らが見だし、解決するために話し合い、集団として合意形成し協力して実践することで自治的能力を育む。学級活動(1)の話し合い活動や実践活動、係活動の確かな実践の積み重ねが、自発的、自治的な活動である児童会活動やクラブ活動の充実につながっていく。児童の自治的能力の育成に向けた教育委員会としての取組や指導主事として学校支援の在り方について協議するとともに、域内の学校における好事例について情報共有し、今後の取組や指導について協議を行う。		
提出資料	以下の2点について、それぞれ項目を設けて具体的に記述すること。 (1)自治的能力の育成における実践上の課題 (2)課題の解決に向けた教育委員会としての取組や管内の教育委員会及び各学校への具体的な指導支援例		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	・各都道府県・政令指定都市において作成し、域内市町村教育委員会や学校に対する配布資料や、指導・助言に際して使用したりしている資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。 ・(2)は管内における学校の好事例がある場合はそれも記載すること。その際、別添資料として指導案を別紙様式3の(1)(2)に追加添付すること。 ・(1)、(2)、指導案を含むA4判3ページ以内とする。 【協議の進め方】 作成した資料をもとにグループ内で提出事例のポイントを整理し、事例に即して具体的に実践上の課題及びその解決に向けた取組を協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。		
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)(提出は任意)			
①	提出資料	小学校における学校行事の見直し(教育的意義をふまえた精選、重点化等)の好事例	
	作成様式	任意様式	
	提出資料作成に当たったの留意事項	各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際して使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せてA4判2ページ以内で提出すること。 ※資料提出にあたって、1ページ目の余白(資料右上)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を、ページ下部中央にページ番号を記入すること。	
	提出資料	学級活動(2)におけるSOSの出し方に関する教育についての取組や好事例	
②	作成様式	任意様式	
	提出資料作成に当たったの留意事項	各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際して使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せてA4判2ページ以内で提出すること。 ※資料提出にあたって、1ページ目の余白(資料右上)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を、ページ下部中央にページ番号を記入すること。	
	提出資料	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編
	用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)	
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387014.htm	
	②	資料名	・小学校特別活動映像資料 学級活動編、解説パンフレット(データ可) ・小学校特別活動指導資料(データ可)
用意しておく箇所	資料全体 ※映像資料をまだ視聴していない場合、学級活動(1)教師用を事前に視聴すること。		
インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouziryou.html		

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 特別活動部会

協議① 小中合同部会として実施		
協議題	特別活動で育成を目指す資質・能力の小中の円滑な接続	
趣旨	<p>学習指導要領では、集団としての意見をまとめる話し合い活動など、小学校からの積み重ねや経験を生かし、それらを発展させることができるよう工夫する考えが示されており、特別活動における指導において小学校との関連を図っていくことが重要である。</p> <p>そこで、小中の円滑な接続について、貴管内の児童生徒に育成を目指す資質・能力を明確にした上で実践上の課題、並びに課題の解決に向けた教育委員会としての取組や域内の中学校区の好事例について共有し、教育委員会としての方策や指導主事としての学校支援の在り方について協議する。</p>	
提出資料	<p>貴管内における実態を踏まえ、以下の2点について、それぞれ項目を設けて具体的に記述すること。</p> <p>(1)小中の円滑な接続に係る資質・能力の育成と実践上の課題 (2)課題の解決に向けた教育委員会としての取組(附属学校は学校としての取組)</p>	
作成様式	別紙様式10	
提出資料作成に当たった際の留意事項	<p>・(2)は、単に小中合同で行う取組を示すのではなく、資質・能力の円滑な接続に視点を当てた、教育委員会としての取組について示すこと。その際、現在実施している取組なのか、今後実施すべきと考えられる取組なのか分かるように記載すること。</p> <p>・貴管内の中学校区における小中の円滑な接続に関する好事例がある場合は、資料の最後に「中学校区における好事例」として示すこと。</p> <p>・(1)、(2)あわせてA4判2ページ以内とする。</p> <p>【協議の進め方】 作成した資料をもとにグループ内で提出事例のポイントを整理し、事例に則して具体的に実践上の課題及びその解決に向けた取組を協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。</p>	
協議② 中学校部会のみで実施		
協議題	児童(生徒)が活動を記録し蓄積する教材(「キャリア・パスポート」)の活用に関する学級活動(3)の指導の工夫	
趣旨	<p>学習指導要領では、学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行うこと。その際、児童(生徒)が活動を記録し蓄積する教材(「キャリア・パスポート」)等を活用することを示している。</p> <p>そこで、貴管内における児童(生徒)が活動を記録し蓄積する教材(「キャリア・パスポート」)の活用に関する学級活動(3)の指導について、現状を踏まえた実践上の課題、並びに課題の解決と充実に向けた教育委員会としての取組について共有し、教育委員会としての方策や指導主事としての学校支援の在り方について協議する。</p>	
提出資料	令和4年度の実践を踏まえ教育委員会として配布した資料や実施した研修会、創意工夫された実践事例	
作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たった際の留意事項	<p>・「児童(生徒)が活動を記録し蓄積する教材(「キャリア・パスポート」)の活用に関する学級活動(3)の指導の工夫」をテーマにA4判2ページ以内で作成すること。(附属学校等は学校としての取組み)</p> <p>・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せてA4判2ページ以内で提出すること。</p> <p>※資料提出にあたって、1ページ目の余白(資料右上)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を、ページ下部中央にページ番号を記入すること。(様式は任意)</p>	
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの。)(提出は任意)		
①	提出資料	学校行事の見直し(教育的意義を踏まえた精選、重点化等)の好事例
	作成様式	任意様式
	提出資料作成に当たった際の留意事項	<p>各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せてA4判2ページ以内で提出すること。</p> <p>※資料提出にあたって、1ページ目の余白(資料右上)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を、ページ下部中央にページ番号を記入すること。</p>
	提出資料	学級活動(2)におけるSOSの出し方に関する教育についての取組や好事例
②	提出資料	学級活動(2)におけるSOSの出し方に関する教育についての取組や好事例
	作成様式	任意様式
	提出資料作成に当たった際の留意事項	<p>各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せてA4判2ページ以内で提出すること。</p> <p>※資料提出にあたって、1ページ目の余白(資料右上)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を、ページ下部中央にページ番号を記入すること。</p>
	提出資料	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編
その他部会当日に手元に用意しておく資料	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編
	用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20230208-mxt_kyoiku02-100002608_013.pdf
	資料名	中学校・高等学校特別活動指導資料
用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)	
インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html	

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 国語部会

協議①			
協議題	中学校国語科の授業実践における課題		
趣旨	中学校学習指導要領の全面实施3年目を迎え、各学校における実施状況を踏まえて中学校国語科の授業実践における課題を整理し、その課題の解決に向けた学校支援の充実を図る。		
提出資料	責管内における実態を踏まえ、以下の2点について、それぞれ項目を設けて具体的に記述すること。 (1)中学校国語科の授業実践における課題 (2)課題の解決に向けた取組		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)、(2)あわせてA4判2ページ以内とする。 ・(1)は「指導計画の作成」、「言語活動の創意工夫」、「授業での実際の指導」、「学習評価」、「授業改善」、「その他」の項目から2～3項目を選び、各項目に関する具体的な課題とその要因について記述すること。なお、「その他」を選んだ場合は、適切な項目名を自身で記載すること。 ・(2)は既に実施している取組に限定するものではなく、今後課題解決に向けて実施する必要があると考えられる取組でもよい。ただし、既に実施している取組か、今後実施すべきと考えられる取組なのかが分かるように記載すること。 <p>【協議の進め方】 グループ内で、中学校国語科の授業実践における課題を整理し、その解決に向けた効果的な取組について協議する。その後、発表等により全体で情報共有を行う。</p>		
協議②			
協議題	学習指導要領を踏まえた中学校国語科の授業づくりの実際(「情報の扱い方」に関する指導)		
趣旨	第2学年[知識及び技能](2)アについて、[思考力、判断力、表現力等]に示す事項の指導を通して指導する事例の検討を通して、当該指導事項の指導改善に向けた学校支援の充実を図る。		
提出資料	第2学年[知識及び技能](2)ア(特に「意見と根拠の関係」に重点を置いて指導しているもの)について、第2学年[思考力、判断力、表現力等]の「A話すこと・聞くこと」(1)イ又は「B書くこと」(1)ウの指導を通して指導する事例		
作成様式	任意様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案の形式により提出すること。様式は任意で、A4判4ページ以内で作成すること。 ・1ページ目の余白(原則として資料右上部)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。 ・「知識・技能」の評価規準(「意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。」)について、①『『おおむね満足できる』状況(B)と判断する生徒の発話・ワークシート等への記述などの例』、②『『努力を要する』状況(C)と判断する生徒の発話・ワークシート等への記述などの例』を、それぞれ1例以上記載すること。 ・実際の事例の提出が難しい場合は、教育委員会等で作成した指導事例、指導主事が考えた指導アイデア例(学習指導案の形式のもの)でもよい。 ・できる限り、「生徒が学習活動に取り組む際」又は「教師が指導と評価の一体化を図る際」に、1人1台端末を効果的に活用した事例とすること。 <p>【協議の進め方】 当日は、グループ内で提出事例のポイントや具体的な生徒の姿について協議する。その後、発表等により全体で情報共有を行う。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_002.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 国語】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_kokugo.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 社会部会

協議①		
協議題	中学校社会科における各分野の役割やつながりを意識した、社会科の教科や分野の特質を生かした課題を追究したり解決したりする活動の充実について	
趣旨	主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成に向けて、中学校社会科における各分野の役割やつながりを意識し、社会科の教科や分野の特質を生かした課題を追究したり解決したりする活動をどのように充実させるか、提出資料を基に協議を行い、今後の学校に対する支援・助言に活かす。	
提出資料	公民的分野の実践事例(単元計画)を1つ	
作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の選択は任意とする。A4判2ページ以内で作成すること。 ・単元計画の作成に当たっては、地理的分野や歴史的分野との関連付けが分かるようにすること。 ・提出資料に関わって資料を添付することも可能である。 <p>【協議の進め方】 提出資料についてグループ内で発表と質疑を行う。その後、グループで、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度の育成に向けて、各分野の役割やつながりを意識した学習活動を推進する上での課題をまとめ、その対応について協議する。最後に協議のポイント等についていくつかのグループから発表し、情報共有を行う。</p>	
その他部会当日に手元 用意しておく資料	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編
	① 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_003.pdf
	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 社会】
	② 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_shakai.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 数学会

協議①			
協議題	中学校数学科における個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実について		
趣旨	中学校数学科において、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていく上での課題及び課題の解決に向けた自治体としての取組について共有、検討することを通して、指導主事としての今後の学校支援や指導・助言に生かすことができるようにする。		
提出資料	中学校数学科において、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていく上での課題と、その解決に向けた取組について		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<p>・以下の2点について、それぞれ項目を設けて具体的に記述し、A4判2ページ以内にまとめること。なお、【協議の進め方】を参考にすること。</p> <p>(1) 中学校数学科において、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていく上での課題</p> <p>(2) 課題の解決に向けた取組(今後取り組む予定の検討案でもよい。)</p> <p>【協議の進め方】 以下のような学習指導を充実するための取組について課題や工夫点を共有し、今後の学校支援や指導・助言の在り方について協議を行う。</p> <p>ICTを日常的に活用することなどにより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な子供により重点的な指導を行う ・子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供する ・子供が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促していく ・異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出していくようにする ・子供一人一人が自分のペースを大事にしながら共同で作成・編集等を行う ・多様な意見を共有しつつ合意形成を図る など <p>・各都道府県・指定都市において作成し、域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料や、授業実践例の指導計画、指導案など関連する資料があれば、上記(1)及び(2)の「提出資料」に併せて提出すること。なお、様式は任意で、A4判5ページ以内とし、1ページ目の余白(原則として資料上部)に、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記すること。</p>		
協議②			
協議題	数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通じた学習の展開について		
趣旨	数学的な見方・考え方を働かせた学習活動を通して、目標に示す資質・能力の育成を目指した事例を持ち寄り、その事例の良い点及び課題を共有し、数学の授業改善に向けた今後の学校支援や指導・助言に生かすことができるようにする。		
提出資料	数学的な見方・考え方を働かせた学習活動を通して、目標に示す資質・能力の育成を目指して指導する1事例		
作成様式	任意様式		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<p>・学習指導案の形式で提出すること。様式は任意で、A4判4ページ以内とする。1ページ目の余白(原則として資料右上部)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。</p> <p>・実際の事例の提出が難しい場合は、教育委員会等で作成した指導事例、指導主事が考えた指導事例やアイデア例でも構わない。</p> <p>【協議の進め方】 提出事例のポイントを整理し、整理した内容を踏まえて具体的な指導・助言の場面や内容等をグループ内で協議を行う。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編
	用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)	
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm	
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 数学】
	用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)	
	インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_sansu.pdf	
	③	資料名	「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)【本文】
	用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)	
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm	

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 理科部会

協議			
協議題	「主体的に学習に取り組む態度」の評価の事例について		
趣旨	「指導と評価の一体化」のための学習評価について、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の様々な事例を共有し、今後の学校支援につなげる。		
提出資料	貴管内における次の①と②の事例のいずれかを選択して記述すること。 ①「主体的に学習に取り組む態度」の評価として適切と考えられる事例 ②「主体的に学習に取り組む態度」の評価として改善が必要と考えられる事例		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<p>・A4判2ページ程度とする。</p> <p>・①か②のどちらかの事例かを明記すること。</p> <p>・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料の53・54ページの書き方を参考に、当該授業の学習指導案をもとに「単元名」、「本時のねらい」、「評価規準」について記載すること。可能であれば「評価例」も記載する。</p> <p>・①の事例の場合はなぜ適切か、②の事例の場合はなぜ改善が必要かの理由を記載し、改善策を記載すること。</p> <p>【協議の進め方】 グループ内で提出事例のポイントを整理し、事例に即して具体的に実践上の課題及びその解決に向けた取組を協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 理科編
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 理科】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 音楽部会

協議①			
協議題	学習指導要領の実施における中学校音楽科の課題とその対応及び成果について		
趣旨	各地域における授業実践の好事例や、研修等での周知や協議の内容等について情報交換するとともに、学習指導要領の実施における中学校音楽科の課題とその対応及び成果について研究協議を行う。		
提出資料	協議題に係る以下の2点の両方又はいずれかについて具体的に報告するとともに、その成果と課題について考察し記述すること。 (1) 貴管内における授業実践の好事例 (2) 貴管内における研修等での周知や協議の内容		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	A4判2ページ以内に項目を立ててまとめること。 また、参考として都道府県市作成の既存資料等があれば提出してもよい。 【協議の進め方】 当日は、グループ内で提出資料の概要を報告し、その内容を基に成果と課題及びその解決に向けた取組について協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20220419-mxt_kyoiku02-100002608_06.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 音楽】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_ongak.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 美術部会

協議①			
協議題	中学校美術科における資質・能力の育成を目指した授業の実際 (「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を図った指導について)		
趣旨	表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた授業実践について共有し、その事例がどのように学習の充実や資質・能力の育成を図ることにつながったのか、指導と評価の工夫の観点から協議する。		
提出資料	「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を図った実践事例		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>○各都道府県、指定都市における、実践事例をA4判2ページ程度にまとめること。 ○学年、形式は問わない。項立ても任意とする。次のことについて記述することが考えられる。 ・題材名 ・実践学年 ・題材の目標 ・題材の概要(題材の設定や指導の工夫について) ・評価規準 ・指導と評価の計画 ・授業展開(本時のみでも可) ・成果と課題 など</p> <p>【協議の進め方】 提出資料をもとに、「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を図った実践事例の内容と資質・能力の育成について、指導と評価の工夫の視点からグループで協議する。その際、グループごとに簡潔にまとめる。</p>		
協議②			
協議題	「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を図った指導の充実に向けて		
趣旨	表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた授業をより効果的に行うために、授業づくりをする上で課題となること、課題の解決に向けた自治体としての取組について共有し、指導主事としての学校支援の在り方について協議する。		
提出資料	<p>次の内容について、記載すること。 ・協議①の実践事例について、具体的にどのような点がよかったか。 ・協議①の実践事例について、更にどのような点について留意するとよいと考えたか。 ・今後、各地域で、周知や指導に向け、どのようなことに取り組んでいけばよいか。</p>		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>・A4判1ページ程度にまとめること。 ・項立ては任意とする。</p> <p>【協議の進め方】 午前中の協議を踏まえ、各都道府県、指定都市の現状や学校での取組状況も交えて、「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を図った指導の充実に向けてのポイントについて協議する。その際、グループごとに簡潔にまとめ、発表し、全体で共有する。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 美術編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_007.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 美術】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_bijyut.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 保健体育部会

協議①			
	協議題	保健体育科の「保健分野」に関する成果と課題及びその対応について	
	趣旨	保健分野の学習に関する指導内容や指導方法の工夫について、成果と課題の把握や課題の解決策の検討をすることにより、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の一層の充実の実現を目指す。	
	提出資料	・都道府県・指定都市における保健分野に関する成果と課題について ・課題の解決に向けた現状の取組や対応等について	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	提出資料は、以下の点を踏まえて作成すること。 ○A4判1ページにまとめること。 ○都道府県・指定都市における保健分野に関する課題は、以下の内容から選択すること。 ・系統性を踏まえた保健分野の指導について ・現代的健康課題(がん、性、心など)に関する指導の工夫について ・保健分野に関するカリキュラム・マネジメントの充実について ・「保健分野」と「体育分野」との一層の関連を図った指導について ・運動習慣の形成につなげる保健分野の学習について 【協議の進め方】 提出された資料をもとに、グループ内で事例の情報共有、課題解決に向けた協議等を行う。グループ協議後、全体で交流する。	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20210113-mxt_kyoiku01-100002608_1.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 保健体育】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_hokent.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各分会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 技術部会

協議①		
協議題	中学校技術・家庭科(技術分野)の指導体制及び内容「D 情報の技術」項目(2)及び(3)(プログラミングの指導内容)の指導状況改善の方策について	
趣旨	令和5年6月14日に開催した「令和5年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会中学校技術部会」では、令和4年度に文部科学省が実施した「中学校技術・家庭科(技術分野)の指導体制及びプログラミング教育の現状及び課題に関する実態調査」を通じて明らかになった域内の課題について協議を行った。その協議を踏まえ、各自治体等で取り組んでいる(計画している)協議に係る方策及び、その着実な実現に向けて課題となっている事項について共有するとともに、課題の解決策について協議し、今後の取組に活かす。	
提出資料	次の内容について記載すること。 ①6月の協議を受け、自治体等で現在取り組んでいる、もしくは来年度に計画している、中学校技術・家庭科(技術分野)の指導体制の改善方策 ※国立大学の附属校は、域内公立学校技術分野担当教員への取組の周知についての工夫 ②6月の協議を受け、自治体等で現在取り組んでいる、もしくは来年度に計画している、内容「D 情報の技術」項目(2)及び(3)(プログラミングの指導内容)の指導状況の改善方策 ※国立大学の附属校は、内容「D 情報の技術」(2)(3)実施で課題に感じていることの自分なりの解決策 ③②の方策を進めるにあたっての課題 ※その他、必要な事項があれば追記も可能。	
作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たった留意事項	・上記①～③について、A4判1ページ程度でまとめること。 ・各都道府県・指定都市等において、①②に関連して作成した資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。なお、様式は任意とするが、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。 ・方策の実施に係って予算を確保している(する予定である)場合は、その予算をどのように確保したかについても、①②に記載すること。 【協議の進め方】 グループごとに、提出資料に記載した①～③について共有し、課題解決のためのヒントを探る協議を行う。その後グループ協議の内容について発表し、全体で共有する。	
協議②		
協議題	「社会の発展と技術」を適切に実施するための題材計画の作成とその周知について	
趣旨	令和5年6月14日に開催した「令和5年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会中学校技術部会」の協議において、「社会の発展と技術」については、必ずしも十分な実施がなされていないのではないか、という課題意識が共有された。この学習内容の適切な実施に向けては、「社会の発展と技術」の学習までを見据えた一連の学習過程を意識した題材計画が重要であるとの認識のもと、各学校における題材計画作成の課題を共有するとともに、その課題の解決策及び学校への周知の手立てについて協議し、今後の指導・助言に活かす。	
提出資料	次の内容について記載すること。 ①把握している「社会の発展と技術」の学習までを見据えた題材計画の作成に関する課題 ②課題解決の方策 ③「社会の発展と技術」を適切に実施するための周知の手立て ④題材計画の好事例(あれば) ※その他、必要な事項があれば追記も可能。 ※国立大学の附属校は、自校の取組に置き換える。③については域内公立学校技術分野担当教員への周知の手立てを記載。	
作成様式	①～③別紙様式3 ※共通様式 ④任意様式	
提出資料作成に当たった留意事項	・上記①～③について、A4判1ページ程度でまとめること。 ・④については、事例を把握していれば提出すること(提出は任意)。 ・各都道府県・指定都市等において、「社会の発展と技術」を適切に実施するために作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。なお、様式は任意とするが、1ページ目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること(6月の指導主事連絡協議会で提出したものと同一のものでも構わない)。 ・国立大学の附属校は、研究発表会等で用いた「社会の発展と技術」の実施に関する資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。なお、様式は任意とするが、1ページ目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること(6月の指導主事連絡協議会で提出したものと同一のものでも構わない)。 【協議の進め方】 グループごとに、提出資料に記載した①～④について共有し、題材計画作成に当たった要点、及び学校への周知の手立てについて協議を行う。その後グループ協議の内容について発表し、全体で共有する。	
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)		
提出資料	小学校及び高等学校での学習と中学校技術・家庭科(技術分野)との接続を意識した取組例	
作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たった留意事項	該当する取組を把握していれば資料を作成の上、提出すること(提出は任意)。 ・中等教育資料令和5年7月号特集1「学校段階間の接続を踏まえた指導に向けて(技術・家庭・家庭・情報)」を参考にされたい。	
その他部会当日に用意しておく資料	①	資料名 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編
		用意しておく箇所 資料全体
		インターネットでの掲載場所 https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_009.pdf
	②	資料名 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 技術・家庭】
	用意しておく箇所 資料全体	
	インターネットでの掲載場所 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_g_gijyut.pdf	

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 家庭部会

協議①		
協議題	「問題を見だし、課題を設定する」学習過程の充実	
趣旨	家庭科における「問題を見だし、課題を設定する」学習過程の充実に向けて、持ち寄った事例の共有・意見交換を行い、今後の学校への指導・助言に活かす。	
提出資料	「問題を見だし、課題を設定する」学習過程の事例を1事例	
作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>・「問題を見だし、課題を設定する」場面と、その充実のための支援(国立大学法人附属学校からの参加者については、教師の手立ての具体)について、A4判2ページ以内でまとめること。</p> <p>・具体的には、以下の①②をまとめ、提出すること。なお、提出資料に関わって資料を添付することも可能である。</p> <p>①授業の様子が分かるもの(学習指導案等)</p> <p>②①について、A～Cのうち、自身の所属に応じて記述する</p> <p>A:教育委員会の指導主事・・・「問題を見だし、課題を設定する」場面の充実に向けた学校への指導・助言の具体や、指導・助言による教師の変容の具体</p> <p>B:教育センターの指導主事・・・家庭科を指導する教師を対象とした「問題を見だし、課題を設定する」場面の充実に向けた研修講座の内容の工夫や、講座受講後の教師の変容の具体</p> <p>※教育センターの指導主事のうち、実際に学校へ出向き、指導・助言を行った場合は、Aを選択してもよい</p> <p>C:附属学校からの参加者・・・自身の実践の具体(授業構想の意図、実際の子供の様子、実践の振り返り)</p> <p>【協議の進め方】</p> <p>・前半は、担当教科調査官より現状についての説明と、実践事例の発表を行う(予定)。</p> <p>・後半は、グループごとに、持ち寄った事例を発表し合った上で、「問題を見だし、課題を設定する」学習過程の充実に向けた学校への指導・助言のポイントについて協議しまとめる。協議後、まとめた内容について全体で発表・共有する。</p>	
協議②		
協議題	学習指導要領の「よりよい実施」に向けた課題と令和6年度に向けた展望	
趣旨	各自治体、各校における学習指導要領の「よりよい実施」に向けた課題を共有し、その解決策を考えることを通して、令和6年度に向けた各自の取組への見通しをもつ。	
提出資料	なし	
作成様式	—	
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>【協議の進め方】</p> <p>・グループに分かれ、各自治体(各校)における学習指導要領の「よりよい実施」に向けて課題と感じていることと、その具体を発表し合う。</p> <p>・グループごとに、出し合った課題の中から1つを取り上げ、課題を解決するためのアイデアを出し合い、まとめる。各グループでまとめた内容について全体で発表・共有する。</p> <p>・発表を受け、各自の「令和6年度に向けた展望(学校への指導・助言に生かしたいこと、研修講座で取り上げたいこと、授業実践で取り組みたいこと等)」としてまとめる。</p>	
その他部会当日に手元 用意しておく資料	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編
	① 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_009.pdf
	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 技術・家庭】
	② 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_g-gijyut.pdf

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 外国語部会

協議①		
協議題	令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた取組について	
趣旨	令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から見られる現状や課題等の分析に基づき、指導改善を行うことが重要である。そこで、各都道府県及び指定都市において分析したこと、分析結果に基づき、特に、「話すこと」及び「書くこと」の力を高める、小学校との接続(共通点及び相違点)を意識した指導の在り方について市区町村教育委員会及び学校に対して指導・助言している内容を、実践事例をもとに協議する。	
提出資料	① 各都道府県及び指定都市において作成した、「令和5年度全国学力・学習状況調査の結果分析」「分析に基づいた指導改善のポイント」等についての資料 ② ①を踏まえ、指導改善のポイントと小学校との接続(共通点及び相違点)を意識した「話すこと」の力を高めることにつながる実践事例(単元構想と単位時間) ③ ①を踏まえ、指導改善のポイントと小学校との接続(共通点及び相違点)を意識した「書くこと」の力を高めることにつながる実践事例(単元構想と単位時間)	
作成様式	①任意様式 ②③別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たったの留意事項	・①は、1ページ目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入する。 ・②③は、それぞれA4判2ページでまとめる。なお、②③ともに「分析結果に基づいた指導改善のポイント」と「小学校との接続(共通点及び相違点)を意識した指導のポイント」も明記する。 ・mextchannellに9月掲載予定の、「令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた映像資料」を事前に視聴しておく。 【協議の進め方】 当日は、グループ内で「話すこと」及び「書くこと」の実践事例をもとに協議する。グループ協議後、全体で交流する。	
協議②		
協議題	言語活動の充実及び、「言語活動を通して指導する」ことの在り方について	
趣旨	令和5年度全国学力・学習状況調査の質問紙調査、「①学校における言語活動等の取組状況」の結果を見ると、学校(教師)が「言語活動をよく行った・どちらかといえば行った」と回答している割合と、言語活動に取り組んでいると受け止めている生徒の割合には差が見られた。授業において言語活動に取り組んでいると受け止めている生徒の方が、英語の平均正答率が高い傾向が見られたことから、生徒が授業において言語活動に取り組んでいると受け止めることができるよう、言語活動の充実及び、「言語活動を通して指導する」ことの在り方について再確認する必要がある。そこで外国語科の目標を達成するために言語活動の充実及び、「言語活動を通して指導する」ことの在り方について指導・助言している内容を、協議①で提出した実践事例をもとに協議する。 また、今後ますますAI(生成AIのみならず従来型のAIを含む)が進展し、その活用によって言語活動の充実を図ることが可能となってくる。そこで、協議の中で事務局よりAI活用事例を提示、共有し、それについて協議する。	
提出資料	言語活動の充実及び、「言語活動を通して指導する」ことの在り方について、市区町村教育委員会や学校に対して指導・助言している内容	
作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たったの留意事項	・A4判1ページでまとめる。 【協議の進め方】 当日は、グループ内で協議①で提出した実践事例をもとに協議する。グループ協議後、全体で交流する。	
その他部会当日に用意しておく資料	資料名	①中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編 ②令和5年度全国学力・学習状況調査(調査問題・正答例・解説資料、報告書・調査結果資料、授業アイデア例)
	用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	① https://www.mext.go.jp/content/20210531-mxt_kyoiku01-100002608_010.pdf ② https://www.nier.go.jp/kaiatsu/zenkokugakuryoku.html

令和5年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 道徳部会

協議①			
協議題	道徳科における問題解決的な学習、体験的な活動など多様な指導方法の工夫について		
趣旨	「令和3年度道徳教育実施状況調査」において、中学校では、「問題解決的な学習を取り入れた指導」、「道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れた指導」について改善の余地があることが明らかとなった。このような結果を踏まえ、道徳科における問題解決的な学習、体験的な活動など多様な指導方法の工夫に係り、教育委員会としての指導・助言等の在り方について協議を行う。		
提出資料	<p>貴管内における実態を踏まえ、以下の2点について、A4判1ページ程度でまとめること。(附属学校等については学校としての取組と課題)</p> <p>(1)問題解決的な学習、体験的な活動など多様な指導方法を取り入れた道徳科の指導事例 「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編」77頁及び96-98頁参照。</p> <p>(2)課題と、解決に向けた取組(今後の取組も含む)</p>		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>・各指導事例における授業のねらいや活動の目的及びそれらを達成するための効果的な指導や評価について、その方法が明確になるように留意した上で、別紙様式に沿って資料を作成すること。</p> <p>・提出資料について、文部科学省ホームページへの掲載を相談させていただく可能性がある。</p> <p>・参考資料等があれば、上記「提出資料」と併せて、A4判2ページ程度で提出すること。その際、1ページ目の余白(原則として資料上部)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を記入する。(様式は任意)</p> <p>【その他基本的な留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を使用する場合には、顔や名札等の個人を識別することができる情報を隠す等の加工を行うことにより、生徒等のプライバシーに十分配慮すること。その際、端末の画面などへの映り込みにも留意すること。 ・学校名や個人名などを明らかにする場合には、事前に許可を得ること。 ・別紙を参考に、用語の統一を図ること。 ・資料は厳選したものをのみを提出すること。 <p>【協議の進め方】</p> <p>提出資料をもとにグループ分けを行い、そのグループ内で情報共有した後で、グループごとに持ち寄った事例のうち1つを選択し、その事例をもとに、授業の構想について 研究協議する。</p>		
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
提出資料	貴管内の中学校における道徳科の優れた授業実践		
作成様式	任意様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	提出資料を参考に、「文部科学省道徳教育アーカイブHP」掲載にあたり授業の収録について相談をさせていただく場合がある。		
視聴しておく資料	①	資料名	道徳教育アーカイブ授業動画
	用意しておく箇所	実践事例について(授業映像)	
	インターネットでの掲載場所	https://doutoku.mext.go.jp/	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_011.pdf
	②	資料名	令和3年度 道徳教育実施状況調査 結果概要
		用意しておく箇所	9頁の小・中学校を調査対象とした設問6
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/chousa/mext_00080.html